

官民協働の講座で「伝わる」チラシ作りに挑戦

◎広報情報課 ☎36・7118

12月13日、社会教育課と広報情報課の連携事業「広報・デザイン講座」を市役所会議棟で開催しました。

主に、広報活動が必要とする社会教育施設関係者と市職員に加え、受講を希望する市民を加えた約30人が参加。クリエイティブディレクターで東京都杉並区広報監を務める谷浩明氏から、「伝わる」チラシをデザインする上での、基礎やコツをグループワークなどを通して学びました。

チラシの講評では、少しの気付きや気遣いで相手に伝わりやすくなる

ポイントを講師が指摘すると、受講者からは感嘆の声が上がりました。



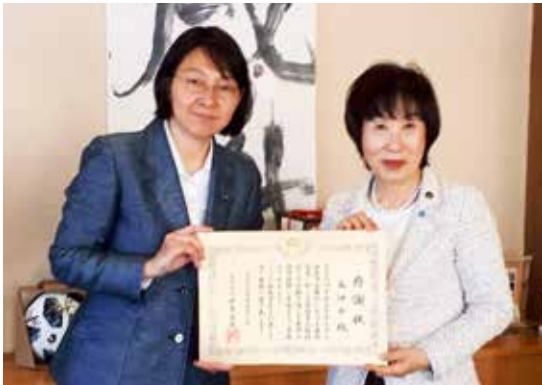
課題に取り組む受講者と谷氏(左から2人目)

倉敷市長が島田市に感謝状を贈呈

◎危機管理課 ☎36・7143

12月18日、倉敷市の伊東香織市長と河野裕危機管理監が市役所を訪れ、染谷市長に感謝状を贈りました。

7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた倉敷市真備町に、市はいち早く救援物資を送り届け、さらに民間事業者から紙おむつなど生活物資の手配を行いました。伊東市長は、感謝の言葉を述べるとともに、真備町の避難所が全て閉鎖され、避難住民が仮設住宅へ移ったことや、町の復興の様子などを語りました。



感謝状を手にする伊東倉敷市長と染谷市長

小中学生防災標語コンテスト優秀作品が決定

◎危機管理課 ☎36・7320

小中学生の防災意識を高めるため毎年実施している「防災標語コンテスト」の優秀作品が決定し、12月18日に表彰式が行われました。

最優秀賞の中川琉希斗さん(島一中2年)は「訓練で災害時も心の余裕ができるように」と、平原新大さん(六合小4年)は「災害のニュースを見て感じた訓練の大切さを伝えた」と話しました。▽訓練は小さな事の積み重ね(中川さん作)▽意味のないくねれなんてひとつもない(平原さん作)



(左から)山本さん、若林さん、平原さん、中川さん、菅根さん

賑わい交流拠点完成イメージ図を公開

◎内陸フロンティア推進課

☎36・7392

12月20日、市とJ A 大井川、大井川鐵道の3者は、賑わい交流拠点の新たな完成イメージ図を公表しました。

また、市と大井川鐵道は、J A 大井川が11月1日に設立した「株賑わい創造舎」に出資することを発表しました。地元農産物の販売や体験型イベントの実施などを予定し、オープンは2020年7月頃。染谷市長は「この拠点を、奥大井につながる大井川流域の観光の玄関口、広域連携の観光拠点にしていきたい」と話しました。



新たに発表された賑わい交流拠点完成イメージ図